

平成23年度

第3/3回

(地域別研修)

南アジア地域 小学校理科教育の質的向上  
(「教えと学び」の現場教育)

実施要領

平成23年10月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

## 目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	6

### 付属資料

付表 1 研修員関連情報

付表 2 コースカリキュラム（予定）

付表 3 日程表（予定）

付表 4 年度別受入実績表

## 1. 案件基本情報

(1) コース名

和文：(地域別研修) 南アジア地域 小学校理科教育の質的向上 (「教えと学び」の現場教育)

英文：Region Focused Training Program on “Quality improvement in Science of Primary Education ( “Teaching and Learning ” at on-site education)”

(2) 受入期間

平成 23 年 10 月 10 日 (月) ～12 月 17 日 (土)

(3) 技術研修期間

平成 23 年 10 月 17 日 (月) ～12 月 16 日 (金)

(4) 定員、割当国

受入人数：10 名

割 当 国：ブータン、バングラデシュ、ネパール、スリランカ、アフガニスタン、パキスタン (下線は受入国)

(5) 使用言語：英語

(6) 研修類型：人材育成普及型

## 2. 案件の背景・目的

開発途上国にとって理数科の素養を国民が兼ね備えることは、産業発展の礎である。南アジアの国々は近年好調な経済成長を遂げており、これを中長期的な発展につなげるために、理科教育の強化、特に質の改善が非常に重要な課題となっている。

さらに、これまで過去 10 年以上にわたり南アジア諸国を対象に類似の研修を実施した結果、帰国研修員により初等理科教育の授業に簡易実験が導入されつつある。今後はその普及と定着が組織的に図られることを目指す。

### 3. 案件目標

研修員の所属する教員養成機関の再訓練を受ける現職教師および学生により、暗記に頼らない簡易実験の導入や学習指導案の作成を通じた理科実験の教授手法が共有される。

### 4. 単元目標

- (1) 日本の理科教育現場を理解し、自国への適応可能性を検討できる
- (2) 初等教育に係わる幅広い理科簡易実験や実習を理解・体験し、実際に実施・開発できる
- (3) 課題設定、課題解決のプロセス、授業評価などの基本要素が含まれており、かつ児童の学習段階に応じた初等理科指導計画を作成できる
- (4) 理科教育手法の普及にかかるインテリムレポートが作成される

### 5. 研修成果品

- (1) 本邦研修実施前

「初期報告書 (Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

- (2) 本邦研修終了時

「中間報告書 (Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に自国での活動計画 (案) を作成し、コース終盤に発表する。

- (3) 帰国後の事後活動

「最終報告書 (Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間報告書に書かれた自国の活動計画 (案) を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画 (案) をまとめ、帰国後6ヶ月以内に JICA 帯広に提出する。JICA 帯広は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

## 6. 研修員参加資格要件

(募集要項記載条件)

- (1) 初等理科教育に関する①カリキュラムの開発、②教授法、③政策・制度に関する知識を有する者。
- (2) 初等教育の教員養成学校教官で、当該分野において5年以上の職歴を有する者。
- (3) 初等教育に関する簡易理科実験の開発と普及に携わる者。

(各案件共通資格要件)

- (4) 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- (5) 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- (6) TOEFL iBT 72点 (CBT 200点/PBT 533点) 以上に相当する英語能力を有すること。
- (7) 心身ともに健康なこと。
- (8) 軍に属していないこと。

## 7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA 帯広）が計画するコースの実施に関する業務を公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中、財団法人日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員を配置する。具体的業務分担は次のとおり。

(1) JICA 帯広

- ア. 実施計画書作成（案件目的、案件目標、研修期間等）
- イ. 評価
- ウ. 実施予算の執行管理
- エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) HIEC

- ア. 日程表の調整・作成
- イ. 講師、視察先等への連絡・確認
- ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) JICE

- ア. 関係者間の連絡調整
- イ. 通訳・翻訳 等

## 8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標（1頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

- ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握
- イ. 研修員が提出する質問票による評価
- ウ. JICAによる評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 帯広、コースリーダー、講師、北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

## 9. 研修付帯プログラム

### (1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター（以下 OBIC：Obihiro International Center）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

### (2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会・歴史・文化・経済・教育・行政などを紹介する。

### (3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として10時間の日本語講習を実施する。

#### 付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
10月11日（火）	ブリーフィング
10月12日（水）	ジェネラルオリエンテーション 午前 講義「日本の社会と日本人」 午後 生活オリエンテーションバスツアー
10月13日（木）	ジェネラルオリエンテーション 午前 講義「日本の教育」「日本の経済」 午後 講義「日本の政治、行政」「日本の歴史・文化」
10月14日（金）	日本語講習
10月16日（日）	日本語講習

## 10. 主な宿泊場所

帯広国際センター（OBIC）

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

## 11. その他

### (1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

### (2) 研修員の待遇

#### ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

#### イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

### (3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター  
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2  
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250  
ホームページ : [www.jica.go.jp/obihiro/](http://www.jica.go.jp/obihiro/)  
電子メール : [jicaobic@jica.go.jp](mailto:jicaobic@jica.go.jp)

研修員関連情報

研修員情報(英語力はリスニング・スピーキング・読解・記述能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名、県又は地名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経歴	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい項目
1	① Ms. AYOUB Sorya ② D-11-04944 ③ 54 ④ 女 ⑤ アフガニスタン	① 教育省 科学・技術局 教員指導者 ② 7年 ③ プダベスト 大学(ハンガリー、修士 専攻は記述なし) ④ AAAA ⑤ 高校教員研修(インド、1990年～1991年) 対女性暴力(韓国、2007年) 女性による経営(米国、2009年)	① 教員セミナーの開催 ・ 学校を訪問し、教師の問題の解決を図ること ・ 理科教員の能力開発 ・ 数学授業の原型の計画・設計・構築 ・ ティーチングガイドの草稿作成と教員への教授 ② 理科・数学教師を対象とした、教材の効果的利用を図るためのセミナー、ワークショップ、コース、シンポジウムの開催 ・ 実験ガイドブックの設計と作成 ・ 中央・地方の理科センター長、局内の職員、中央・地方の教員に対する、教材と実験器材の効果的利用に関するセミナーやワークショップによる研修	・ 新しい教育法 ・ 日本とアフガニスタンの科学・数学教育の比較 ・ アフガニスタンの生徒の知識を強化する方法 ・ 数学に関するリサーチとセミナーへの参加に関心を持っている
2	① Mr. HASAN Kayes ② D-11-04547 ③ 36 ④ 男 ⑤ バングラデシュ	① 初等大衆教育省 Joydebpur初等教育教員訓練機関 教官(理科) ② 1年(2007年より2010年まで他州の初等教育教員訓練機関で 教官を務める) ③ ダッカ教員訓練機関(教育学修士) ④ BBBB ⑤ 記載なし	① 教員免許クラスにおける科学・数学の教授 ・ 小学校における、教育実習を含む専門指導者としての業務 ・ 短期研修プログラムの実施 ② 小学校教員を対象とした1年間の現職教員研修の実施 ・ 教員、郡リソースセンター教官などの教育関係機関のメンバーを対象とした教科別研修コースや短期コースの実施	・ 日本の教育研修カリキュラムとその実施方法 ・ 教室における生徒中心のアプローチの実施の仕方
3	① Ms. TANU Sumona ② D-11-04548 ③ 34 ④ 女 ⑤ バングラデシュ	① 初等大衆教育省 クルナ 初等教育教員訓練機関 教官(理科) ② 4年 ③ バングラデッシュオープン大学(教育学修士) ④ BBBB ⑤ 記載なし	① 教員免許クラスにおける科学・数学の教授 ・ 小学校における、教育実習を含む専門指導者としての業務 ・ 短期研修プログラムの実施 ・ 実習授業の支援 ② 小学校教員を対象とした1年間の現職教員研修の実施 ・ 教員、郡リソースセンターや初等教育教員訓練機関の教官などの教育関係機関のメンバーを対象とした教科別研修コースや短期コースの実施	・ 日本の教育カリキュラム、研修とその実施方法 ・ 理科授業をいかにわかりやすく魅力的なものにするか
4	① Mr. WANGCHUK ② Thinley ③ D-11-04022 ④ 40 ⑤ 男 ブータン	① ブータン国立大学 バロ教育カレッジ 情報通信技術 部 部長・講師 ② 3年(現組織には1999年より勤務) ③ カーティン技術大学(オーストラリア、理科教育修士) ④ AAAB ⑤ 科学技術教育(1998年、イスラエル) eラーニング(2007年、スリランカ)	① 情報通信技術・科学と小学校理科モジュールの講義 ・ 教育実習生の課題・実習・プロジェクトの支援と指導 ・ カレッジにおける学部の活動の調整 ・ カレッジ管理チームへの支援 ・ 情報通信技術に関する学部メンバーのための専門性開発プログラムの調整と実施 ② 専門性と倫理性を備えた進歩的教員の育成 ・ 子どもと社会のニーズや希望に即した教員教育プログラムの提供 ・ 教育研究・助言の核であること ・ 教員教育に携わるスタッフの専門性強化の促進	・ 初等理科教育に関する新しい知識とスキル ・ 現場教育の教授・学習コンセプト ・ 理科の授業を暗記科目ではなく興味を持てるものにする方法 ・ 日本における理科実験の方法と、自国におけるその適用可能性 ・ 理科実験における情報技術の利用
5	① Mr. SUBEDI Ram Prasad ② D-11-05516 ③ 45 ④ 男 ⑤ ネパール	① 教育省 教育課程開発センター 教育課程担当(理2科) ② 5年 ④ Mahendraratna校(教育学修士、「教育計画管理」専攻) BBBB アジア工科大学院(タイ、教育研究方法論、2007年) 東南アジア教育省機構教育技術センター(フィリピン、ネパールにおける理科教育の質的向上を目的とした中心となる指導教官の育成、2008年)	① 特に初等レベルの理科教育課程、教科書、教師用指導書の開発 ・ 教授法、授業計画、及び教材作成と教室における教材利用に関する教員研修の実施 ・ 理科参考資料の開発(低・低コストの教材作成に関する指導書、子ども用教養書、理科辞典等) ② [教育省 教育課程開発センターの業務内容] 質の高い教育課程、教材及び教員研修を通じた質の高い教育	・ 教材をもっと実際の活動をベースにした、より子どもにわかりやすいものにするための知識・技術を学びたい ・ 様々な学校や教育機関における対話や見学により、日本の教育制度を理解し、自国の制度に合わせて活用したい
6	① Mr. YADAV Dinesh ② D-11-05517 ③ 41 ④ 男 ⑤ ネパール	① 教育省 学校理科教員(教科主任) ② 14年 ③ トリバン大学(行政学修士、「開発行政」専攻) ④ BBBB ⑤ ザラットナラヤンミティラー大学大学院(インド:物理学) C.M.科学大学(インド:物理学、化学、数学) マルワリ大学(インド:物理学、化学、数学)	① 初等レベルにおける生徒の指導 ・ 中等レベルにおける定期的授業 ② [教育省の業務内容] ・ 小学校理科教育の質的向上(現場教育における教員と学び)	・ 帰国後に教室での指導から学んだことを活用したい ・ 中・等レベルにおける定期的授業 ・ 実践的な教育 ・ 物理学教育の技術
7	① Ms. UBAID Hanifa ② D-11-05308 ③ 31 ④ 女 ⑤ パキスタン	① イスラマバード連邦教育局 イスラマバードモデルスクール 教員 ② 7ヶ月(現組織には2006年から勤務) ③ 連邦教育大学(数学・物理) *現在アラマイクハルオープン大学にて物理学修士取得中 ④ BBBB ⑤ なし	① 小・中学校で一般理科を教えている ・ 教科外活動委員会のメンバーとしての業務 ・ 小・中学校で数学を教えている ② 学術性と卓越性、知的探究心、忍耐と思いやりの教養、明日への展望を伴う目的と達成感の涵養に焦点を当てた、教授・学習環境の提供	・ 新しい理科教授テクニックを学びたい ・ 理科教授法について知りたい ・ シンプルなアクティビティを設計できるようにになりたい ・ 社会教育における研修プログラムを理解したい
8	① Ms. NAYNANGALA VIDANELAGE Dushantha H. G. ② D-11-05309 ③ 37 ④ 女 ⑤ スリランカ	① サハラガムワ州教育局 教育開発部 副部長 ② 4年(現組織には2000年より勤務) ③ 国立教育研究所(教育(生物・英語)) ④ ABBB ⑤ 青年招聘プログラム(2005年、JICA) 教員・教育関係者向けワークショップ(2010年、インド) HIV/AIDS教育専門性開発コース(2011年、タイ)	① 関係当局との教科の調整 ・ 主任教員指導者としての研修プログラムの実施 ・ カリキュラム開発への参加 ・ 初等教育で行われるアクティビティ全体の監督と評価 ② 学校、教員、校長の業務の監督 ・ 各教科と教員の質的向上のための研修を含む様々な活動の実施 ・ カリキュラム開発業務 ・ 教科のモニタリングと評価	・ 日本の学校で用いられている新しい方法 ・ 初等教育における理科実験に関する知識 ・ 良い授業ができる授業案の作り方
9	① Ms. DILLIMUNI Meththa Madhumali ② D-11-05310 ③ 35 ④ 女 ⑤ スリランカ	① 南部州教育局 教育開発部 教育副部長 ② 6年 ③ フリンダーズ大学(オーストラリア、教育学修士) ④ BBBB ⑤ なし	① 市内1,100校における理科授業のモニタリングと改善を目的とする監督 ・ 能力の高い生徒、遅れている生徒両方のための理科教育プログラムの組織と実施 ・ ナイズ、演劇コンクール、「理科の日」、理科展示、キャンプなどにより、生徒が理科好きになるよう図ること ・ 理科分野の人材開発(教員、現職教員アドバイザー、実習助手、理科フィールドセンター長) ・ 学校への物的資源の提供 ・ パイリンガル教育(英語を教授言語とする教育) ・ 学校における新たな取り組みを推進する協会のコーディネーターとしての業務 ② 全ての学校教育活動を調整・促進する州の主な政府機関 ・ 学校の運営・管理、州の政策立案とその実施	・ 教育経営、近代的教授法、改善、教員研修、カリキュラム開発、政策立案とモニタリングに関する私の学術的・専門的スキルを開発したい
10	① Ms. GUNAWARDANA Hewa Kankanamalage Deepthi U ② D-11-05311 ③ 44 ④ 女 ⑤ スリランカ	① 国立教育研究所 科学・技術学部 数学科 プロジェクト担当 ② 3年 ③ コロンボ大学(教育学修士) ④ BBBB ⑤ 学習教材の作成(2009年、インド)	① 理科のカリキュラム、教員用マニュアルの作成 ・ 理科のカリキュラムに対応する教材開発 ・ 教員研修と現職教員アドバイザー研修(理科) ・ 研究活動 ・ 初等理科の質的向上プロジェクトのメンバーとしての活動 ② 教育研究の実施 ・ カリキュラム開発 ・ 教員の能力強化 ・ 政策立案者への助言	・ 環境理科が実際にどのように教えられているか(私は初等理科の質的向上プロジェクトのメンバーであり、教員と現職教員アドバイザーの能力開発に直接的に関わっているため) ・ 簡易でローコスト、使いやす新しい実験開発

(day)

項目	カリキュラム	講義	実習	視察	討論	担当講師	講義目的	講義内容
<b>到達目標1:日本の理科教育現場を理解し、自国への適応可能性を検討できる。</b>								
日本の教育体系、各国の現状と課題		1.5				境コースリーダー	日本の教育体系と現状を理解し各国の現状と課題を考える	教育体系、教育に関する基礎知識と教育に関する現状調査
コンピューターを通しての教育			2.0			帯広市教育委員会 教育研究所	理科学習の中でのコンピューターの使用例を学ぶ	植物検索ソフト等
教育現場におけるコンピューターの活用			1.0			イシス システム コミュニケーションズ 近藤 達	理科教育の中でのコンピューターの使用方法を学ぶ	コンピューターの使用方法
理科の授業と指導計画の視察 (小規模小学校)				1.0		帯広市内小学校	対象国に多くある複式学級における理科の授業について知る	複式学級で行われている初等理科の授業
理科の授業と指導計画の視察 (大規模小学校)				2.0		帯広市立森の里小学校	大規模校における視察を通して指導計画の構成を理解する	大規模校における指導計画と理科授業
理科の授業と指導計画の視察 (大規模中学校)				1.0		帯広市立帯広第八中学校	中学校の理科教育の現場を知る	中学校における理科の授業
学校教育と社会教育		0.5		1.0		十勝教育局生涯学習課社会 教育指導班 とかちプラザ 帯広市図書館	学校教育と社会教育役割分担と協力	社会教育施設訪問
保育園訪問				0.5		あじさい保育園	自然をいかした保育の実際の視察	保育園訪問
博物館訪問(釧路/東京)				2.5		釧路市こども遊学館 国立科学博物館 日本科学未来館	丹頂先生の実験室(釧路こども遊学館) 博物館の活動の紹介(展示等)	博物館訪問
広島訪問				1.0		広島平和記念資料館	戦後日本の原点を見る	広島平和資料館訪問
14.0								
<b>到達目標2:初等教育に係わる幅広い理科簡易実験や実習を理解・体験し、実際に実施・開発できる。</b>								
シンプル実験の紹介 (視察を含む)			7.5			帯広市児童会館	簡単な素材を使っの理科実験例を学ぶ	様々な種類の簡単な理科実験
シンプル実験の開発と観点			3.0			北海道立教育研究所付属理 科教育センター	身近な素材を使っの理科実験の開発に関する観点を学ぶ	科目としての科学的構想とシンプル実験の目的
10.5								
<b>到達目標3:課題設定、課題解決のプロセス、授業評価などの基本要素が含まれており、かつ児童の学習段階に応じた初等理科指導計画を作成できる。</b>								
学習指導要領		0.5				十勝教育局生涯学習課義務 教育指導班	指導内容と理科学習の指導スケジュールを理解する	小学校の理科にかかる学習指導要領
指導案作成指導		6.0				境コースリーダー	指導案の作成の要領についてまなび、模擬事業を実施する。	指導案の作成要領
6.5								
<b>到達目標4:理科教育手法の普及にかかるとインテリムレポートが作成される</b>								
インテリムレポート作成指導				1.0		境コースリーダー 帯広市児童会館	帰国後、教育現場で理科実験の実施と普及の展望をもてる	各人が、それぞれの国の実態をふまえ、どこで、いつ、どのように理科実験を実施し普及するか
研修の成果と今後の展望		0.5				境コースリーダー	研修の成果を確認し今後の展望をもつ	これまでの研修員の活動の紹介と、普及例について
開発実験最終討論				0.5		境コースリーダー 帯広市児童会館	各人が開発した実験を評価しあい、今後の開発の方向をつかむ	それぞれの実験がどのような概念理解につながるのかを、具体的に把握できるようにする
インテリムレポート発表会				0.5		境コースリーダー JICA	インテリムレポートを通して研修成果を理解する	インテリムレポートの発表
2.5								
<b>その他</b>								
インセプションレポート発表会				0.5		境コースリーダー JICA	研修員各員の小学校理科教育の現状及び担当する業務内容、問題点を研修員及び関係者が互いに理解する	研修員が自国で抱える問題点の把握、研修員の学びたい内容の確認
コースオリエンテーション		0.5				境コースリーダー	コースの目的、スケジュールを理解する	コースの概要説明
環境教育の現場				1.0		北海道教育大学釧路校	環境教育の実践の場を体験する	釧路湿原を利用した環境教育の現場
研修講座(理数教育)				0.5		北海道立教育研究所付属理 科教育センター		
ディスカッション・シンポジウム				1.0		北海道教育大釧路校	研修員同士また、日本の学生や有識者と所等理科教育について意見を交わすことで、見識を広げる	研修員の母国および初等理科教育の紹介と教育学部の学生とのディスカッション
スーパーサイエンスハイスクールの取組み		0.5	0.5			北海道立室蘭栄高校	来を担う科学技術系人材を育てる、理数系教育の充実をはかる取組みを行っている高校を視察する。	室蘭栄高校の取組みの視察及び意見交換
学校訪問(開発教育支援)				1.0		帯広養護学校、音更町立緑 陽台小学校	開発教育支援として	小中学校における国際交流学習への参加
5.5								

(小計) 10.0 13.5 12.0 3.5

(中計) 39.0

(総計) 44.0  
(予定は全44日)

## 日程表(案)

日付	時間	区分	カリキュラム	担当機関・講師名	研修場所	宿泊地
10/10	月		来日			
10/11	火	09:30-17:20	入館式・集合ブリーフィング	公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター	帯広国際センター ブリーフィングルーム	
10/12	水	09:00-16:50	ジェネラルオリエンテーション			
10/13	木	09:45-19:00	ジェネラルオリエンテーション・日本語講習			
10/14	金	13:00-15:30	レポート作成準備			
10/15	土					
10/16	日					
10/17	月	09:15-09:45	市長表敬	帯広市親善交流課	帯広市役所	
		10:30-12:00	講義 コースオリエンテーション	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム3	
		13:30-16:00	講義 日本の教育体系			
10/18	火	09:00-12:00	討論 インセプションレポート発表会	(独法) 国際協力機構 帯広国際センター	帯広国際センター オリエンテーションルーム	
		13:30-14:30	講義 児童会館①(事業概要/Mi taka教育への応用)	館長 本田 雅文/天文実験室	帯広市児童会館	
		15:00-16:30	講義			
10/19	水	09:30-12:00	講義 学校教育と社会教育	十勝教育局社会教育指導班 社会教育主事 尾山 清龍	帯広国際センター オリエンテーション ルーム	
		13:30-16:00	講義 学習指導要領	十勝教育局教育支援課義務教育指導班 主査 廣瀬 一仁		
10/20	木	10:00-12:00 13:00-16:00	講義 各国の現状と課題	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム3	帯広
10/21	金	10:00-12:00 13:00-16:00	講義 指導案作成①			
10/22	土					
10/23	日					
10/24	月		視察 教育施設訪問(小学校・大規模校)		帯広市立森の里小学校	
10/25	火	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館②(水中の小さな生物/化石を調べる)	生物実験室/地学実験室	帯広市児童会館	
10/26	水	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館③(いろいろな炎の色/熱と温度)	化学実験室/物理実験室	帯広市児童会館	
10/27	木	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館④(工作実習Ⅰ・葉脈標本)	発明工作室/生物実験室	帯広市児童会館	
10/28	金	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館⑤(力の働きと運動/物の溶けかた)	物理実験室/化学実験室	帯広市児童会館	
10/29	土					
10/30	日					
10/31	月	10:00-12:00 13:00-16:00	講義 指導案の作成②	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム1	
11/01	火	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館⑥(月を探ろう/昔の顕微鏡)	地学実験室/生物実験室	帯広市児童会館	
11/02	水	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館⑦(工作実習Ⅱ/光と電気)	発明工作室/物理実験室	帯広市児童会館	
11/03	木					
11/04	金	10:00-12:00 13:00-16:00	講義 指導案の作成③	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム4	
11/05	土					
11/06	日		移動 帯広 → 札幌			
11/07	月	09:00-16:00	実習 シンプル実験教材開発		北海道立教育研究所 附属理科教育セン ター	札幌
11/08	火	09:00-16:00				
11/09	水	09:00-16:00				
11/10	木	10:50-	視察 北海道室蘭栄高等学校 スーパーサイエンススクール		北海道室蘭栄高等学校	
11/11	金	13:00-16:00	視察 研修講座(理数教育)		北海道立教育研究所附属理科教育センター	帯広
			移動 札幌 → 帯広			
11/12	土					
11/13	日					
11/14	月		視察 教育施設訪問(小学校・複式校)		帯広市内小学校	
11/15	火	09:30-16:00	講・視・実 コンピュータ利用教育①	指導主事 奥山 志穂子	帯広市教育委員会教育研究所	
11/16	水	09:30-16:00	講・視・実 コンピュータ利用教育②			

付表-3

11/17	木	09:30-12:00	教育施設訪問（保育園）	園長 藤本 史代	あじさい保育園	
		13:30-14:30	視察 社会教育施設視察	副館長 黒川 範夫	とちがちプラザ	
		14:45-15:45	社会教育施設視察	副館長 谷尾 淳	帯広市図書館	
11/18	金	10:00-12:00	討論 インテリムレポート作成指導（簡易実験の確認）	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター	
		13:30-16:00	討論 インテリムレポート作成指導（簡易実験の紹介）	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋、児童会館講師	セミナールーム4	
11/19	土					
11/20	日					
11/21	月	12:00-16:00	視察 帯広 → 釧路			
11/22	火		討論 表敬・釧路校副学長			釧路
			討論 大学院生との交流			
		14:30-16:10	討論 シンポジウム（学部生1年生）	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	北海道教育大学釧路校	
		16:30-18:00	討論 学生との交流			
11/23	水	08:00-16:00	視察 環境教育の現場（北海道教育大学釧路校）			
11/24	木	08:00-16:00	視察 教育施設視察	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	北海道教育大学附属釧路小学校	
11/25	金	10:00-12:00 13:00-16:00	視察 指導案の作成④	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	北海道教育大学釧路校	
11/26	土	13:00-15:30	視察 社会教育施設視察	釧路市こども遊学館	釧路市こども遊学館	
		16:00-18:00	視察 たんちょう先生の実験教室		釧路市こども遊学館4階実験室	
			移動 釧路 → 帯広			
11/27	日					
11/28	月		交流 開発教育学校訪問（帯広養護学校、音更町立緑陽台小学校）	十勝インターナショナル協会 佐々木・大石	帯広養護学校 音更町立緑陽台小学校	帯広
11/29	火	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館⑧（酸とアルカリの実験／開発実験準備）	化学実験室	帯広市児童会館	帯広
11/30	水	10:00-12:00 13:00-15:00	講義 教育現場におけるコンピュータの活用	ITシステムコミュニケーションズ 近藤 達	帯広国際センター セミナールーム2	
12/01	木	10:00-12:00 13:00-16:00	講義 指導案作成指導⑤	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム4	
12/02	金	09:30-12:00 13:30-16:00	実習 児童会館⑨（開発実験：発表会準備）		帯広市児童会館	
12/03	土					
12/04	日		帯広→東京			
12/05	月	10:30-16:00	視察 日本科学未来館		日本科学未来館	東京
12/06	火	10:30-16:00	視察 国立科学博物館	植物研究部陸上植物研究グループ長 樋口 正信	国立科学博物館	
12/07	水	10:00-16:00	移動 東京 → 広島			
12/08	木	10:30-15:00	視察 広島平和祈念資料館		広島平和祈念資料館	広島
12/09	金		広島→帯広			
12/10	土					
12/11	日					
12/12	月	10:00-12:00 13:00-16:00	講義 指導案の作成⑥	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム4	
12/13	火		視察 教育施設訪問（中学校・大規模校）		帯広市立帯広第八中学校	
12/14	水	09:30-12:00	実習 児童会館⑩（開発実験：発表会準備）		帯広市児童会館	帯広
12/15	木	10:00-12:00	講義 研修の成果と今後の展望	北海道教育大学釧路校 准教授 境 智洋	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30-16:30	討論 開発実験（発表会）最終討論		帯広市児童会館	
12/16	金	09:00-12:00	討論 インテリムレポート発表会	（独法）国際協力機構 帯広国際センター	帯広市児童会館	
		12:30-14:00	閉講式 / 閉講パーティ		帯広国際センター セミナールーム4/会議室	
		14:15-15:15	評価会		帯広国際センター セミナールーム4	
12/17	土					

## 年度別受入実績表

## 1. 応募／選定（受入）人数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	累計
応募数	18名	15名	19名	14名	13名	16名	95名
受入数	8名	8名	8名	10名	9名	10名	53名

## 2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	累計
アフガニスタン				●○	●●○	●	6名
ミャンマー	●	○					2名
パキスタン	●	○	○			●	4名
スリランカ	●○○	●○	○○	●●●	○○	●●●	15名
モルディブ	○	●	●○				4名
ネパール	○○	○	○○	●○	○○	○○	11名
ブータン				○	○	○	3名
バングラデシュ		●○	○	●●	○	●○	8名
計	5カ国 8名	6カ国 8名	5カ国 8名	5カ国 10名	5カ国 9名	6カ国 10名	8カ国 53名